

FEB

22



マンスリー／ファミリー

ネイチャーゲームのご報告

令和6年度 主催事業

参加家族：5組（14名）、職員・スタッフ2名、リーダー1名



2月の参加者は5家族14名でした。始まる頃に雪が舞い始め、芝生の広場で雪キャッチをして遊んでからスタートしました。

最初のゲームは『ジャンケン落ち葉集め』。ジャンケンに勝つ度に、違う種類の落ち葉を探して集めます。わいわい盛り上がり、身体がポカポカになりました。集めた葉っぱを布の上で種類分けして、たくさんの種類があることや、同じ種類でも大きさや色が違う事など、大人も子どもも、驚きと発見で目を丸くしていました。

いつしか雪は止み、青空に太陽が暖かく輝きはじめてその時、黄色い鳥のピーちゃんが登場しました。でも、冬は食べ物もなく、お腹がペコペコで元気ありません。そこでみんなも鳥になって、木の茂みに隠れている虫（カラーピンチ）を探しました。色んな色の虫が見つかり、優しい子どもたちはピーちゃんにもいっぱい食べさせてあげていました。



「黄色やピンクは見つけやすかったけど、緑や茶色は難しかったなあ」「食べられないように見づらくい色になっているんだよ」「食べようとする方も、見づらくないような色になってるんじゃない?」「あ! カマキリとかだ」これは、虫(カラーピンチ)を探した後の子どもたちのステキな話し合いです。

次は、絵本『ふゆのめがっしょうだん』(今回は小学生のお姉ちゃんリーダーが読んでくれました。)を見た後、冬の芽探しに行きました。芽に吹きだしも付け、セリフも考えて、「これはタケノコ帽子をかぶった人みたい。」「モンブランみたい。セリフはぐるぐる。」一つひとつが個性的で、とても親しみを持たれました。

『フィールドパターン』で丸や放射状など色んなパターンを自然の中から見つけながら移動し、キンカンがたくさん実っている木に集まりました。この実は、鳥たちの冬の貴重な食べ物だから、美味しそうなのを1つだけ選んで食べることにしました。「おいしい! 甘い!」「もっと欲しい。そうだ! この種を持って帰って植えよう。」何年か後にみんなの家にも、甘いキンカンがたくさん実ると良いですね。

さて、来月は春の陽気に、あちこち花も咲き始めるころです。

皆さまのご参加をお待ちしております!